



広報、公聴に力を入れ 充実した議会活動を

ガッチリ握手の石橋議長と大屋副議長



2年前に4人の新人を加え、新たな顔ぶれとなった邑南町議会は、議会構成を2年で改選する申し合わせにより、5月9日に臨時会を開き議会人事を一新しました。議長には石橋純二議長を再選し(2回目)、副議長には大屋光宏議員を選任しました。

今回は委員会条例を改正し、議会運営委員会の定員を11人に増員し、新たに議会広報公聴常任委員会を設置しました。その関係で各委員会の委員構成も変更がありました。1期目の議員が委員長・副委員長に選任されるなど、議会全体の力量アップにも配慮した改選人事となっています。委員会での活発な議論を通じ、邑南町の発展のために充実した議会活動をめざします。

石橋純二議員を議長に再選

副議長には大屋光宏議員を選出

5月9日に臨時会を開催し、邑南町議会申し合わせ事項により、2年に1度の議会の人事構成の改選を行いました。まず、正副議長の選挙を行い、議長には石橋純二議員が当選し、2度目の議長就任となりました。副議長には大屋光宏議員が選出されました。続いて常任委員会・議会運営委員会・特別委員会それぞれの委員の選出、正副委員長長の互選を行い、新しい体制が整いました。

就任のごあいさつ

議長 石橋 純二



前期に続き議長に就任させていたたくことになりました。誠に光栄に存じますとともに、あらためて責任の重大さを痛感しています。

コロナウイルスの感染症上の位置づけが5類へと引き下げられ、これまでの活動制限からようやく解放され、平時の活動ができるようになりま

した。

邑南町議会では今回から「議会広報特別委員会」を廃止し、より多くの皆さまに広く訴え、聴くことを主眼として「議会広報公聴常任委員会」を発足しました。

意見交換会のみならず、「出かける委員会」として各団体の皆さんとの意見交換会なども視野に入れた活動を行っていきます。

また、全国的に議員のなり手不足が話題になっていますが、昨年実施しました町民議会も好評でしたので、議会と執行部と協議しながら進めていきたいと考えています。

議会は諸課題に対し、

それぞれの議員がそれぞれの立場で議論し、議決を行う場です。

議会運営にあたっては公平、公正、無私を旨とし、議会機能の充実に努めていきます。

また、執行部とはいたずらに対立するのではなく、節度を守り、町民福祉の更なる向上を目標とし、町民の皆さんの負担に配慮する所存です。

皆さんの更なるご理解とご協力をお願い申し上げます。

副議長 大屋 光宏



分理解されていないと感じています。

議員の役割は、住民の意見や要望を伝えるだけではなく、住民の代理人として「予算や条例などの政策の最終決定」と「行政運営の批判と監視」をすることです。

議員一人ひとりの力を十分に発揮し議会での議論が深まり、皆さんの幸せにつながる事が実感できる議会となるよう努めていきます。皆さんも、議会に関心を持ち、ぜひ目で見ていただきますようお願い申し上げます。

改選後のこの2年間は、コロナ禍への対応と石見中学校改築などの大型事業に加えて、脱炭素先行地域づくり事業など新規事業の取り組みもあり、議員に求められる役割と責任の大きさを痛感してきました。

一方で、議員選挙における成り手不足と投票率の低下においては、議員の果たしている役割が十

議長選挙		
当選	石橋純二	8票
	漆谷光夫	4票
	日高八重美	1票
副議長選挙		
当選	大屋光宏	9票
	漆谷光夫	3票
	無効票	1票

常任委員会

議会活動の中心舞台になるのが「常任委員会」で、議会運営の水先案内をするのが「議会運営委員会」です。今回から議会運営の円滑化を図るために、定数を7から11に増員しました。

また、「議会広報公聴常任委員会」を発足し、議会広報の発行だけでなく、意見交換会などの公聴も担当することになりました。



漆谷光夫 委員長

議会運営委員会

委員長	漆谷 光夫		
副委員長	辰田 直久		
委員	中村 昌史	宮田 博	
	和田 文雄	平野 一成	
	瀧田 均	日高八重美	
	野田 佳文	鍵本 亜紀	
	奈須 正宜		

不安視される世界情勢や社会が変革する中、少子高齢化と人口減少による担い手不足をはじめ、地域経済と産業振興、財政の健全化、物価高騰など課題は山積しており、議会の

役割と責任の重大さを痛感しています。
町民第一を念頭に意見交換会や町民議会を通して町民の皆さんと課題や情報を共有し、共に未来志向で町づくりを推進することが重要です。

議会基本条例の原則に基づき、議会の公開度を高め、開かれた議会を推進し、町民の皆さんに分かりやすい自由闊達な討論と円滑な議会運営に全力を尽します。



平野一成 委員長

総務教民常任委員会

委員長	平野 一成		
副委員長	奈須 正宜		
委員	中村 昌史	大屋 光宏	
	漆谷 光夫	日高八重美	

新型コロナウイルス感染症の法的位置づけがら類に変更されたこともあり、少しずつ平常の生活に戻りつつある兆しが見えてきています。町行政機構と、教育委員会の課の再編や医療と

福祉の統合など、町民の皆さんの生活に直接かわる変化も生まれてきています。
総務教民常任委員会で、引き続き「地域に出かける委員会」活動を増やし、より一層皆さんの対話を進め、皆さんの生き生きとした活動を支援する施策を推進するため、町行政に対する確かな提言が出来るよう議論を深めていきたいと考えています。

●産業建設常任委員会



瀧田 均 委員長

5月9日に行われました臨時会における構成替え人事で、産業建設常任委員会委員長に選任されました。精一杯職責を果たす覚悟ですのでよろしくお願いいたします。

委員会の所管は、「産業支援課」「地域みらい課」「建設課」「水道課」の4課です。所管の課に係る施設は町内に多くありますが、実際には何処に設置されどのよう運営されているか詳細なことが確認できていない状況があると思っています。

現場主義を意識して、町内施設の視察活動に取り組みたいと思います。



委員長	瀧田 均
副委員長	野田 佳文
委員	辰田 直久 宮田 博 和田 文雄 鍵本 亜紀

●議会広報公聴常任委員会



中村昌史 委員長

この度から新たに設置された常任委員会です。今までは「議会広報特別委員会」で行っていた「議会広報」の発行を引き継ぐと同時に、「議会意見交換会」などの公聴業務を担当

します。

議会広報の発行は今まで以上に読まれやすい紙面をめざします。それ以外に、意見交換会のあり方や、昨年からは始めた町民議会の内容充実についても検討したいと思います。また、他の常任委員会と連携して地域に出かけていくことを増やすことも検討します。

併せて、議会のホームページの活用も考えていきたいと思っております。



委員長	中村 昌史
副委員長	日高八重美
委員	和田 文雄 野田 佳文 鍵本 亜紀 奈須 正宜

監査委員を続投

宮田博 議員



監査委員は町長の任命を受けて、任期は4年です。これまでは議会人事の関係で、2年で辞表を提出していましたが、今回の人事では宮田議員が継続することになりました。

宮田議員は、日頃から財政のことに注目しており、議員の中でも予算や決算に関して特に精通しています。

そうした中で、代表監査委員の森脇義博氏とともに、財政監視役として活躍を期待します。

特別委員会委員長のコメント

● 浜田作木線改良促進特別委員会

野田 佳文 委員長

この度、浜田作木線改良促進特別委員会委員長を拝命いたしました。浜田作木線は、邑南町の東西を結ぶ主要地方道として位置づけられており、産業、経済、観光などさまざまな分野において最重要路線です。一日も早い全線改良の達成をめざし、強く要望して行きたいと思っております。よろしくお願いいたします。



● 議会改革特別委員会

和田 文雄 委員長

議会では、議会改革特別委員会を設置しています。これまで、議員定数の削減・議員間討議・タブレット導入・意見交換会・町民議会等に取り組んできました。今後は議会の活性化につながる課題解決、住民の福祉向上のため、議会がどうあるべきかを調査研究し、先進的な議会をめざし委員会として議論を交わしていきます。



● 人口問題特別委員会

辰田 直久 委員長

最近の人口減少については、国も危機感を抱き、人口対策のための予算を増額し、各種の事業に取り組み始めたところです。議会としても執行部と協調し、持続可能な町のため、議員全員でさまざまな視点から効果のある対策を提案し、未来に繋げるための調査を行います。町民の皆さんにも積極的にご意見を伺いたいと計画していますので、ご協力をお願いします。



5月臨時会 議案の ゆくえ

専決処分 など11件を 承認可決

5月臨時会では、専決処分の承認を求め議案が8件、財産の取得の承認を求めものが1件、令和5年度補正予算が1件、議会運営委員会からの発委が1件上程され、すべてを全員賛成で承認可決しました。

専決処分の内2件は条例改正です。「町税条例」と「国民健康保険税条例」の一部改正で、共に3月31日に交付された地方税法の一部改正に伴い、4月1日から施行されたものに関連する条例の改正です。

予算の最終補正で、地方交付税、地方譲与税、交付金、国県支出金、税収、地方債の最終見込額や、歳出決定額に伴う必要最低限の補正です。

財産の取得は、おおなんバス大朝線車両の経年劣化による更新です。

令和5年度補正予算は、新型コロナウイルスワクチン接種に関する予算と、低所得の子育て世帯生活支援給付金に関する予算の追加です。

新型コロナウイルスワクチンは、5類移行後の今年度も引き続き希望者は自己負担なしで接種できます。

子育て世帯給付金は、昨年度もありましたが、低所得の子育て世帯に対し子ども1人当たり5万円を給付するものです。

発委は、議会委員会条例の一部改正で、「議会運営委員会」の委員定数を7名から11名に増員すること、議会の広報公聴に関することを所管する「議会広報公聴常任委員会」を設置し、定数を6名とするものです。

令和4年度3月専決補正

	当初予算の額	3月補正後の額	3月専決補正額	3月専決補正後の額
一般会計	138億6210万円	146億8681万円	△9996万円	145億8686万円
国民健康保険	14億7900万円	14億3814万円	△1億2867万円	13億947万円
直営診療所	1億850万円	1億1987万円	△17万円	1億1970万円
後期高齢者医療	3億8405万円	3億8412万円	△447万円	3億7965万円
下水道	10億2200万円	10億3621万円	△147万円	10億3475万円
電気通信	6億9100万円	6億9100万円	△130万円	6億8970万円
特別会計合計	36億8250万円	36億6934万円	△1億3608万円	35億3326万円
総合計	175億4460万円	183億5615万円	△2億3604万円	181億2012万円

令和5年度5月補正





	当初予算の額	5月補正額	5月補正後の額
一般会計	159億7100万円	5651万円	160億2751万円
国民健康保険	13億2000万円	—	13億2000万円
直営診療所	1億3450万円	—	1億3450万円
後期高齢者医療	3億7350万円	—	3億7350万円
下水道	10億4000万円	—	10億4000万円
電気通信	5億6800万円	—	5億6800万円
特別会計合計	34億3600万円	—	34億3600万円
総合計	194億0700万円	5651万円	194億6351万円





※千円以下で四捨五入しているため実際の数字と差異が発生しています。

水道事業会計の補正はありませんでした。






議員紹介

残り2年間よろしくお願いたします

4	3	2	1
			
日高八重美 (70) 雪田1741 日本共産党、1回 広報公聴副委員長 議会運営委員 総務教民委員 議会改革委員 浜作線委員 人口問題委員	野田 佳文 (56) 鱒淵69-2 自営業 無所属、1回 浜作線委員長 産業建設副委員長 議会運営委員 広報公聴委員 人口問題委員	鍵本 亜紀 (51) 伏谷1297-10 園芸業 無所属、1回 人口問題副委員長 産業建設委員 広報公聴委員 浜作線委員 議会改革委員 公立病院組合議員	奈須 正宜 (41) 矢上6423-7 会社員 無所属、1回 総務教民副委員長 議会運営委員 広報公聴委員 浜作線委員 人口問題委員

8	7	6	5
			
宮田 博 (74) 井原1248-1 農業 無所属、3回 監査委員 産業建設委員 議会運営委員 人口問題委員 総合事務組合議員	和田 文雄 (70) 三日市273-5 農業 無所属、3回 議会改革委員長 広報公聴委員 産業建設委員 議会運営委員 人口問題委員 総合事務組合議員	平野 一成 (64) 下田所906-1 家電販売業 無所属、3回 総務教民委員長 議会運営委員 議会改革委員 人口問題委員 公立病院組合議員	瀧田 均 (64) 日貫3168 農業 無所属、3回 産業建設委員長 議会運営委員 議会改革委員 人口問題委員

(注)
紹介内容は上から、議席、写真、氏名、年齢、住所、議員以外の職業、所属政党、当選回数(合併前含む)、議会での主な役職です。

13	12	11	10	9
				
石橋 純二 (75) 原村504-2 商業 無所属、8回 議長 人口問題委員 総合事務組合議員 公立病院組合議員 消防組合議員	辰田 直久 (63) 中野758 会社員 無所属、7回 人口問題委員長 議会運営副委員長 産業建設委員 議会改革委員 公立病院組合議員 消防組合議員	中村 昌史 (68) 下口羽1283 建築設計業 無所属、4回 広報公聴委員長 議会改革副委員長 議会運営委員 総務教民委員 浜作線委員 総合事務組合議員	大屋 光宏 (55) 矢上1426 農業 無所属、4回 副議長 総務教民委員 人口問題委員	漆谷 光夫 (77) 矢上446-4 無所属、3回 議会運営委員長 浜作線副委員長 総務教民委員 人口問題委員 公立病院組合議員

新しい議会人事 (令和5年5月)

◎委員長 ○副委員長

議長	石橋 純二
副議長	大屋 光宏
事務局長	井上 義博
調整監	植田 靖子

区分	正副委員長	委員
議会運営委員会	◎◎ 漆谷 直光 ◎◎ 辰田 久夫	中村 昌史、宮田 博、和野 文雄、平野 均、瀧野 重美、日高 八重、野田 佳文、鍵本 亜紀、須本 正宜
総務教民常任委員会	◎◎ 平野 正一 ◎◎ 奈須 直成	大屋 光宏、漆谷 直光、中村 昌史、日高 八重、野田 佳文、鍵本 亜紀、須本 正宜
産業建設常任委員会	◎◎ 瀧野 佳文 ◎◎ 野田 均	宮田 博、和野 文雄、中村 昌史、野田 佳文、野田 均、野田 重美、日高 八重、須本 正宜
議会広報公聴常任委員会	◎◎ 中村 昌史 ◎◎ 日高 八重	和野 文雄、野田 佳文、野田 均、野田 重美、日高 八重、須本 正宜
浜田作木線改良促進特別委員会	◎◎ 野田 佳文 ◎◎ 漆谷 直光	中村 昌史、野田 重美、日高 八重、須本 正宜
議会改革特別委員会	◎◎ 中村 昌史 ◎◎ 和田 文雄	辰野 直成、平野 均、瀧野 重美、日高 八重、野田 佳文、鍵本 亜紀、須本 正宜
人口問題特別委員会	◎◎ 辰田 直紀 ◎◎ 鍵本 亜紀	石橋 純二、中村 昌史、大屋 光宏、漆谷 直光、宮田 博、和野 文雄、平野 均、瀧野 重美、日高 八重、野田 佳文、野田 重美、須本 正宜

区分	議員、委員及び理事等
邑南町監査委員(議会選出)	宮田 博
邑智郡総合事務組合議会	石橋 純二、中村 昌史、宮田 博、和野 文雄
邑智郡公立病院組合議会	石橋 純二、辰野 直成、漆谷 直光、野田 重美、野田 佳文、野田 均
江津邑智消防組合議会	石橋 純二、辰野 直成
町国民健康保険事業の運営に関する協議会	大屋 光宏、宮田 博、日高 八重
邑南町児童福祉審議会	鍵本 亜紀
水明メカソーラーパーク環境保全管理委員会	平野 一成
邑南町上下水道委員会	中村 昌史、宮田 博、野田 佳文
邑南町表彰審議会	辰野 直成、平野 一成、日高 八重
邑南町生活交通検討委員会	和田 文雄、日高 八重
邑南町学校給食会	石橋 純二、平野 一成
邑南町空家等対策協議会	石橋 純二、野田 佳文
邑南町奨学生審査委員会	石橋 純二、平野 一成
青少年育成協議会	石橋 純二、奈須 正宜
邑南町民生委員推薦会	漆谷 直光

編集室の窓



前号までは「議会広報特別委員会」で編集を行っていましたが、今回から新たに「議会広報公聴常任委員会」が設置され、編集を引き継ぐことになりました。その初代委員長を仰せつかりました。

前号のこのコーナーで、長く続けることの弊害を書きました。「読む広報」から「見る広報」とも書きました。その上で、委員長(編集長)を努めることの矛盾も感じています。

前号で書きましたように、若い人たちの新しい感覚による新しい広報が必要だと感じています。いきなり全面改定は難しいかと思いますが、委員全員で研さんを積み、より親しまれる広報をめざしてまいります。

(中村昌史記)